

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立南郷小学校

【調査目的】

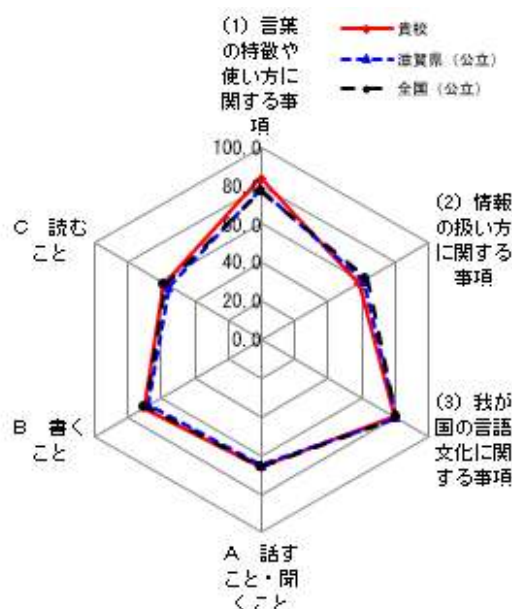
- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について～我が校の強み・弱み～】

今年度はタブレット端末を利用した児童質問紙調査と、国語科、算数科、理科の調査が行われました。全体的に無回答率は低く、最後まで問題を解こうと頑張ることができました。

※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。

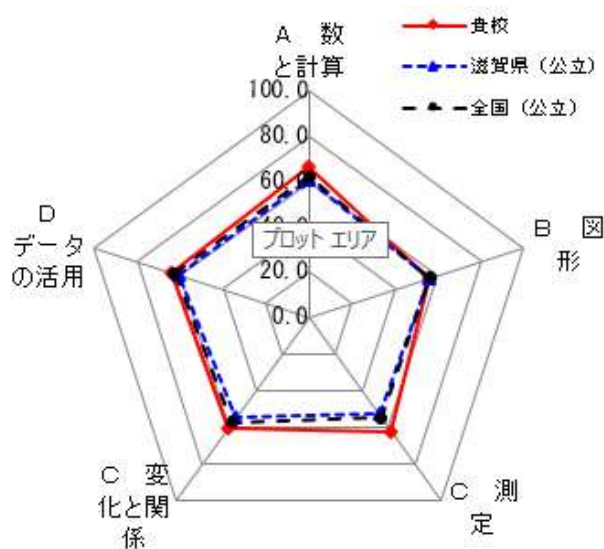
【学習指導要領の内容の平均正答率の状況 国語】



国語

- 全体的に全国・滋賀県の状況に近い状況を示していますが、「言葉の特徴や使い方にに関する事項」は、全国平均を6.8ポイント上回り、よくできていました。
- 文章中の下線部イ（あつい目）を漢字（暑い）に書き直す問題の正答率が高く、文に合わせて同音異義語の漢字を正しく書く力が昨年より伸びました。
- ③三(1)の「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題」の正答率が低く、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したりすることに課題が見られました。
- 「話すこと・聞くこと」の領域において目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合うことに課題が見られました。

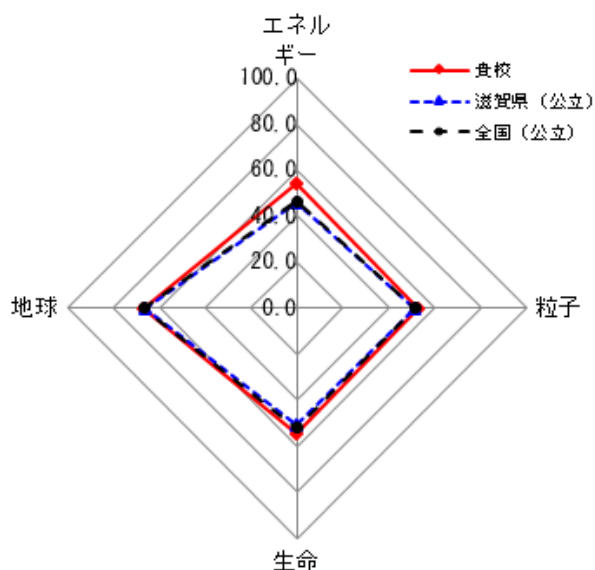
【学習指導要領の内容の平均正答率の状況 算数】



算数

- 全ての領域で全国及び滋賀県平均を上回りました。全体的に全国・滋賀県の状況に近い傾向を示しています。
- 「数と計算」の領域において、とくに③(1)「 $1/2 \div 1/3$ を計算する」問題の正答率が全国平均より7.5ポイント高く、計算力が伸びてきています。
- ①の野菜の出荷量から「日常の事象について、目的に応じて表やグラフからデータの特徴や傾向を捉え考察できるかどうかをみる問題」の正答率が全国・滋賀県平均より低く、データの特徴や傾向を捉え、言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。
- 「図形」の領域において、図形を構成する要素とその関係に着目し、図形の性質や図形の構成の仕方、図形の計量について、図形の性質を関連付けて考察することに課題が見られました。

【学習指導要領の内容の平均正答率の状況 理科】



理科

- 全ての領域で全国及び滋賀県平均を上回りました。全体的に全国・滋賀県の状況に近い状況を示しています。「エネルギー」を柱とする領域は、全国平均を 7.5 ポイント上回り、よくできていました。
- 児童質問紙において、「理科の勉強が得意」「理科の勉強は好き」「理科の授業内容はよくわかる」と回答した児童が多く、理科の学習に対して肯定的な回答が全校・滋賀県平均を上回りました。
- ③(4)「レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる問題」の正答率が低く、疑問から新たな問題を見出し表現することに課題が見られました。
- 「粒子」や「地球」を柱とした領域において、科学的な事象について知識を基に、概念的に捉えること（本質的に内容を捉えること）に課題が見られました。

児童質問紙

- 「学校に行くのは楽しい」「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」と回答した児童が多く、全国・滋賀県の平均を上回りました。また、「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した児童も多く見られました。
- 放課後や土日などの学校の授業以外に「家庭で学習に取り組んでいる時間」は、1 時間未満や全くしないと回答した児童の割合が全国平均より高くなっています。また、「平日に、学校の授業以外に ICT 機器を勉強のために使う」「学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている」と回答した児童の割合は全国平均より低くなっています。

指導の充実に向けて



環境づくり

- ・ 「人・物・時間を大切に」を合言葉に、安心して通い、楽しく学べる学校づくりに努めます。
- ・ 児童会活動・南郷スマイルボランティア活動（NSV）など、子どもたち主体の活躍の場づくりに努め、子どもたちの自己肯定感、集団的自尊感情の向上につなげていきます。

基礎基本の定着

- ・ 一人ひとりの学習状況に応じた丁寧な学習の積み上げを大切にし、基礎基本の定着を図ります。
- ・ ICT を活用したドリルタイムを設定し、一人ひとりの課題に合わせ学習を推進し、個々の力を伸ばしていきます。また、ICT を効果的に活用することで、学習意欲の向上や、より効果的な学びとなるように工夫していきます。

学び方の工夫

- ・ 日常の事象について疑問を基に興味・関心をもつことができるように授業や学習の工夫・改善に努めます。
- ・ 自分の考えと他の人の考えを比較したり、文や図表などを活用したりする話し合い活動や体験的な活動を取り入れた学習を通して、多面的に考察し、学びを深めていけるようにします。
- ・ わかったことや、自分の考えを説明したり書いたりする機会を意図的に作り、対話をしながら学びを深めていくことができるようにします。

家庭・地域との連携

- ・ 地域・家庭と連携し、家庭学習や放課後・長期休業中の学習の工夫・改善を行うことで学習習慣の定着を目指します。また、家庭での学びも子どもが主体的に学習に取り組めるよう「ワクワク」としたものになるように工夫していきます。
- ・ 市立図書館（南郷分館）と連携し、読書活動の充実に努めます。